

**牧師、バイカー、鮫職人として。。。シェア from LA**  
**第30話 コロナ、ロックダウン、妻の事故 ③ 「教会内部再塗装」**

さて、ロックダウンによりレストラン業の私ども夫婦はあっさり解雇となった。実は教会の仕事が中心の私はロックダウンでも殆ど生活スタイルは変わらないが、妻にとっては膨大な時間が出来た。彼女はもともと何かしてないと気が済まない性格なので、ロックダウン直後から「何か仕事をしたい」と言い始めたが、3日目の朝に突然、「ペンキ塗りをしたい！」と言い出した。とりあえず家の中の汚い所を中心に再塗装するという。彼女は工作やペンキ塗りが大好きだ。「そうか、そのテがあったか！」と私の目が開かれた。

実はアメリカでは家を売る際、すぐに売れるよう“流行りの色”に塗り替えてから売るという習慣があり、私もがこの家を買った時の1階の色は緑色だった。おそらくスターバックスコーヒーを真似たのだろう。思わず眉をひそめたが、1階は教会用として礼拝に使う言わばパブリックスペースなので、「カフェみたいだし、まいいか。」とそのままにして、1階以外のほぼ全部を業者に頼んで白へ再塗装した。お陰で手間が省け、カネも浮いたと喜んだ。が、すぐに後悔した。いざ住み始めると緑色は重苦しく、家が東向きなので午後以降はやや暗くなる。汚れが目立たないため掃除もしにくい。しかし後の祭りだった。働きながらの牧会で再塗装の時間はなく、業者を雇うカネもない。「仕方ない。」と諦めていた。

しかし今 ロックダウンにより豊富に時間が出来た。「じゃ全部やろう！」と私は思わず叫んだ。「え、マジで?! ホンマに?」と一瞬ビビるカミさん。「2人でやれば出来る! こんなチャンス2度とないぞ! しかも業者を雇わないので安くつく!」とメラメラ闘志が湧いて来た。その時、

**「強くあれ。一主の御告げ。一仕事に取りかかれ。わたしがあなたと共にいるからだ。」**

**八ガイ書2章4節**

の聖書の言葉どおり聖霊の声が私ども2人に激しく下り、「じゃ私さっそく塗り始めるわ!」と妻は残っていた白いペンキを引っ張り出しいきなり作業にかかり、私もホームセンターへ直行し塗料やマスキングテープなどを大量に買って来て作業開始。

そこからが大変だった。ロックダウンがいつ解除されるか分からないのでとにかく急いだ。1階には礼拝に使っているリビングをはじめ、キッチンとダイニング、トイレがあり、加えて2階踊り場までの階段横の壁も全て塗ったので、休憩を挟んで毎日12時間、激闘2週間の“突貫工事”となった。妻は目を見張るほどのペインター・スキルを発揮し、私よりも遥かに速くて上手く丁寧に緑の壁を白く塗り替えて行き、最後に残ったトイレは本人の希望で彼女自身がピンクに仕上げた。コストは塗料代など500ドル程度。ロックダウンになって本当に良かったと神を褒め称えた。

8-31-2020

